

～読んでみない？こんな本～

「チムとゆうかなせんちょうさん」ほか

エドワード・アーディゾーニ作 福音館書店



チムは海が大好きで、船乗りになりたいと思っている男の子です。ある日、仲良しのボートのおじさんと大きな汽船へ遊びに行き、チムはそのまま航海にでてしまいます。ところがその船が難破してしまい……。

チムのシリーズは全部で 11 冊あって、そのお話しはすべて海に関係します。ボーイとして航海する話しでは、小さくとも一人前に仕事をします。決して甘やかされない海の上の生活は多分すべてが本当のことなのでしょう。海での作業も詳しく書かれているので、嵐のときの大変さや、おだやかな波の日に甲板で過ごす気持ち良さも伝わってきます。チムも笑顔の日もありますが、くたくたに疲れている時もあるのが分かります。それに船での仲間は、決して良い人たちばかりではありません（でもたいていコックはいい人です）。いじわるな航海士に苦勞しながら、危険を避けようとする話しもあれば、仲間たちと協力して海賊を捕まえる話しもあります。生意気だったジンジャーを助けて、仲良しの友達になり、その後も様々な場面で互いに助けあうようになります。そしてジンジャーも立派な船のコックになるのです。大好きな海での生活では、小さくとも決してくじけずに、いつも一生懸命なチム。そんな姿を通して、私達も一緒に航海しているような気分になるシリーズです。